

岡山県保健医療計画策定協議会（第5回）議事概要

日 時：令和6年1月29日（月）14：00～16：00

場 所：岡山県医師会館4階 401会議室

【第9次岡山県保健医療計画の素案について】

<第9次岡山県保健医療計画の案について、事務局から説明>

- 委員 質問が2点あり、まず1点目は保健体育課の41番に対する回答について、339ページの本文のところに「児童生徒」という記載があるし、意見のところでも「児童生徒」となっている。それに対する県の考え方は、中学校・高等学校に配布している「学校部活動指導資料」によるとしていて、小学校については触れられていないが、どのようになっているのか。小学校も併せて「児童生徒」であるため、それに対する見解も示した方が適切ではないか。
- 保健体育課 学校部活動指導資料については、部活動のある中学校や、高等学校の担当者であったり、市町村教育委員会についても記載があるため、それをもって市町村に周知している。学校部活動指導資料は市町村の担当者に年度当初及び年度途中に配布し、説明を行っているため、小学校についても、配慮していただきたいと思っている。記載をするかどうかということは、担当課と検討してまいりたい。記載漏れがあるか等も含めて確認をする。
- 委員 特に児童の思春期の段階は、とても大事だと思うので、この考え方では十分ではないと思ったため、念のために申し上げた。2点目については、746ページの在宅医療の指標で、冒頭に医療推進課長から、データについては、最新の数字ということだと聞いた。そこで確認だが、746ページの在宅医療の指標について、他の指標の記載と異なって、調査の時点と調査名が記載されていないため、いつ時点の数字か、何を基に出した指標なのかわからないため、判断しがたい。ちなみに訪問看護ステーション数で言えば、現時点で瀬戸内市は既に2か所程度増えていると思う。この指標が何の調査か、明記していただきたい。併せて、関連することで確認だが、吉備中央町にサテライトで常駐の看護師を2

名、兼任を1名付けて対応している。サテライトについては、このデータでは取り扱わないのか。実際の医療提供体制と乖離したような数字になっていると思われるので、この資料をどこまで信頼してよいのかわからないため、検討していただきたい。

○医療推進課長 出典の記載がないことについては、修正してまいりたい。この指標は、他県と比較する上で、全国的に同じベースのもので古い形になっているかもしれないため、何年何月のどういう調査かということは明らかにしていきたい。

○委員 2点あり、1点目は282ページの「水道の安全性と持続性の確保」の項目の中の「施策の方向」で追記していただいている、必要なことだと思う。私は吉備中央町の件に少し関わっていて、お話を聞いていると、検査はしたけど見落としという状況なのかなと思っており、他の自治体の方と話していると、検査結果がすごく見にくいということと言われる。それが今回の原因につながっていると思うので、検査だけではなく、検査結果の数字の判断をしっかりとできないとまた起きてしまうと思う。他の自治体の方と話していて、見落とししてしまうという意見があったので確認していただきたい。2点目は、8ページのところで記載があるが、心筋梗塞のSMRがすごく高いということをいつも会議の中で保健師の方がすごく悩まれていたり、公衆衛生系の医師でも議論したことがある。113ページに心筋梗塞の記載があるが、そこに心筋梗塞のSMRが高いという記載があってもよいと思う。

○医療推進課長 心筋梗塞の件については、循環器の協議会でも議論になっているので、それも踏まえて修正するか検討してまいりたい。

○生活衛生課 水質検査結果の数字の判断については、担当者の認識や、基準項目等たくさん項目がある。記載のとおり、講習会の開催等を入念に行い、施設状況の管理、水質管理、それから検査結果の考察についても十分対応できるように職員のレベルの向上を図っていくように県から後押しをしてまいりたい。

○委員 177ページの災害医療連携体制についてお尋ねしたい。元日に能登半島地震が起り、大変なことになっている。地域災害保健医療福祉調整本部（県民

局)と記載があるが、もし新見や高梁で災害が起こったときは、地域災害保健医療調整本部は備中県民局に設置されるということか。

○医療推進課長 地域災害保健医療福祉調整本部は県民局に設置されることになっており、エリアとしては倉敷市に立ち上げることになっている。

○委員 251ページの結核患者の発生及びまん延防止対策について、BCGのところで、予防接種そのものは県が実施する主体にはなっていない中で、一昨年の結核のWEB会議で、健康推進課長も出席されたと思うが、その時には88パーセントという数字は低い、岡山市は95パーセントだと言われた。一般的に、1年の間に生まれた子どもの内、何人がBCGを受けたかが接種率で、そういう意味で言うと、88パーセントは低いんだろうと思うが、どうして88パーセントになっているのか、どう解決していくのかという具体的な県の方針があるのか。おそらくこの場では回答ができないと思うが、今週、来週にはWEB会議があると思うので、その時にお答えいただきたい。以上、要望ということでお願いします。

○会長 保健医療計画に書き込むべき内容ではないが、要望ということでお願いしたい。

○医療推進課長 アドバイス、ご指摘いただいたことは関係課に伝える。

○委員 医療保険者としてのお願いになるが、10番目に糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて記載されていて、その最後に全世代型の計画となるように強く望むという意見を保険者協議会から出している。我々、協会けんぽは、職域保険である。この計画だけに限らず、県の計画は、保険者が絡む記述については国保や後期高齢者を意識した内容になっていることが非常に多い印象を持っている。ご存じだと思うが、協会けんぽの岡山県の加入者数は70万人いて、約4割弱、3割強であり、国保と後期高齢者の保険者の方々を足した人数より多い。健保組合や共済を含めれば、職域保険というのは全体の割合として非常に多くを占めているという状況であるため、県全体としての保健医療を推進していくためには、職域保険についてもしっかりと記述していただきたいし、おっしゃっていただければ、我々も協力してデータを出したいと思うので、今後についてはぜひ考

慮していただきたい。糖尿病性腎症については、意見にもあるが、国保ヘルスアップ支援事業ということでガイドを出されている。平成30年にまとめられていたと思っているが、実は、その1年前の平成29年に岡山県立大学と協会けんぽ岡山支部で同じようなものを先行して作っており、内容はそんなに多くは変わらず、若干指しているものが違ったりしているが、我々もこれに基づいて県も含めて一緒にやっている事実がある。今は別々にやっているという感じになっているので、やはりもっと一緒にやっていたらよいのではないかと思う。これは一例だが、今後はそういったことをよろしくお願いしたい。

○**会長** 協会けんぽと、それぞれそういった取組があったわけですね。ただ70万人の県民が取り残されないようにしていただきたい。協会けんぽと国保の連携について、他県はどうなっているのか。糖尿病対策などをみると、市町村が力を入れてやっているところは、協会けんぽと一緒に取り組んでいくこともできるのではないかと思う。そのあたりのことも今後検討していく必要があると思うがどうか。

○**健康推進課長** 取組については、各保険者がやるべきことが決められているものがあるため、それぞれの保険者の責任として現場でやっていただくことがあるかと思う。同じやり方でやって、効果が出るものであれば持ち寄りながら横展開していくことが考えられる。保険者協議会において、県内の各保険者が集まって意見交換を行う場があるので、横展開をしていただければと思う。岡山県の場合は、地域・職域連携推進事業ということもやっており、それぞれの地元で健康保険者や商工会等、様々な人に入っていただきながらどういうふうに健康づくりをしていくかという協議の場もあるため、そういった場を活用しながら、今後、連携を図ってまいりたい。

○**会長** この保健医療計画というのは、県民のための計画であるため、そのあたりをよく理解して作っていく必要があるので、よろしくお願いしたい。

○**委員** 岡山県周産期医療協議会と小児医療協議会の代表として、今回いろいろ意見をお出しした。また、パブリックコメントもほとんどが小児科の医師だろうと思う。この時期はインフルエンザ、新型コロナで大変だが、ここまで意見があっ

たということは、かなり現場の医師が苦慮している実態を反映していると思うので、次回は、周産期医療協議会と小児医療協議会を入れていただきたいと思う。今回は、私が新生児の医師であり、新生児の暫定指導医ということで、周産期の方にも十分にご意見をいただきながら、この協議会のメンバーとして参加している。次回は、小児医療協議会もメンバーに加えていただきたいと思う。

○会長 パブリックコメントもたくさん出していただいているので、小児医療は非常に重要なところだと思う。次回には加えられるように、6年先で考えるのではなく、来年から考えていただきたい。

○医療推進課長 第10次の計画については、今後、大きくメインとなるところが出てくると思われるので、人選にあたっては当然そういうことも考える。小児、周産期の方にも声をかけられるようにしていきたい。

○委員 すべての協議会にお声をかけていただきたい。

○会長 他に何もなければ、最終的な計画の取りまとめを私と事務局で修正をしていきたいと思う。私と事務局に一任させていただいてもよろしいか。

各委員 異議なし

○会長 ありがとうございます。それでは、私と事務局で十分に協議をして、計画を取りまとめたいと思います。